

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム さくら苑
(ユニット名)	
所在地 (県・市町村名)	滋賀県東近江市聖徳町4番23号
記入者名 (管理者)	市田 茂美
記入日	平成 21 年 10 月 20 日

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	基本理念を作り、いつも見える場所に掲げ職員全員が認識している。		基本理念を踏まえ、その人らしい生活をして頂けるよう支援し、本人様の出来る事は続けて行ける様にしている。
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	スタッフ会議ではその人らしさが尊重されているケアが行えているか確認し合い、一人ひとりを大切にしたいケアの実践に取り組んでいる。		月1回スタッフ会議では日々のケアや利用者様の精神的なケアについて話しあっている。
3		<input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族様にはプランノ説明時や面会時に話している。地域については説明する機会が少ないが来苑時には話している。		地域の方にはもっとさくら苑を知ってもらい気軽に来て頂ける様にしたい。今後も地域に出向き交流を図りたい。
理念と共有 3項目中 3 項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	毎日の散歩の時に地域の方と挨拶を交わしたり、花壇を外から見せてもらったりし、話ができる事もある。		隣近所(高齢者)の方とは気軽に立ち寄り頂ける様にしたい。毎日の挨拶を大切にしたい。
5	3	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	夏祭りには利用者様全員が参加している。自治会行事(敬老会)の参加も考えている。		夏祭りには、地域の方がボランティアに来て下さり安全に祭りを楽しむ事が出来た。今後も色々な形で地域の方との交流を深めていきたい。
6		<input type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	防犯パトロールの実施(法人実施)	○	検討中であり、今後実施に向けたい。
地域とのつきあい 3項目中 2 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価の意義を理解し、改善点、取り組まなければならない事についてはスタッフ会議により話し合いを持つ。		評価を理解し、具体的な事をスタッフ全員で取り組む様にしたい。
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の内容はスタッフ会議にて報告行い、行事に関しては参加できるようにしている。また意見や助言等についてはケアに生かせる様にしている。		今後も運営推進会議では、地域活動や地域交流が持てる様に、意見交換していきたい。
9	6	<input checked="" type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	必要時には窓口で相談している。		プランやケアの事で相談が出来る様にしたい。
10		<input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	資料は揃えているが、現在必要性が無く前向きな話し合い等までは行っていない。		
11		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	スタッフと虐待については知識を深め絶対にあってはいけないと考えている。入浴時や必要時には全身の確認を行っている。		傷の発見に対しては、考えられる原因を話し合い、スタッフ全員で注意する様にしている。
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 4項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、家族様の不安や疑問点を必ず聞いている。また理解して頂きやすい様に説明する事を心掛けている。		
13		<input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様の声は関わりの中で傾聴し、必ず受け止めている。担当のスタッフが中心となり苦情等を聞いている。		不満や苦情は、専用様式に書き上げ、スタッフ会議の場にて話し合い改善している。
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者様の暮らしぶりは月1回のたよりにて報告し。別様式にて健康状態、受診、様子等を家族様に伝えている。金銭管理はおこずかい帳の写しを渡し、レシートと併せ報告している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置している。家族様の面会時には話す機会を多く持ち意見等を聞いている。		家族様からの苦情も月1のスタッフ会議で話し合っている。気軽に話しかけてもらえる様に信頼関係を築いていきたい。
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフからの意見が出る様に話し合いの場をもっている。		今後もスタッフ会議では利用者様、家族様が満足して頂けるケアの支援を考える。
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	状況に応じ家族様の要望に応じれる様にしている。見守り強化の必要な時間帯は職員の増員が出来る。		
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職を考えている事を打ち明けてもらえる様な関係を作り話し合える様にしている。利用者様には不安を緩和するため他の職員で関りを深めている。		
理念を実践するための体制 7項目中 6 項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修については職員の意思を大切にし声をかけている。研修内容はスタッフに伝え介護技術については、場面がある時に話し合っている。		介護技術研修について、月1回位のペースで勉強会を行っていききたい。
20	11	<input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム部会や事例検討会に出席する事で同業者との交流を深くし情報交換をしている。		同業者の施設職員との交流が図れる様にしていきたい。
21		<input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	管理者は絶えず話す機会を持っている。悩みや意見を聞き、アドバイス等を行っている。		
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の前向きな考えは受け入れ、各スタッフがそれぞれ担当をもち責任のある仕事を行っている。		介護についての勉強会を月1回で行っていききたい。
人材の育成と支援 4項目中 4 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人との関りの時間を大切に話を傾聴し受け止めている不安な気持ちに対しても安心出来るよう声かけを行い信頼関係を深めるよう努めている。		
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族様との話す時間は充分にとり、困っている事や不安が解消出来るよう話し合っている。		
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	申込相談に対応すると共に必要と判断すれば居宅ケアマネに同席してもらい相談を行っている。		
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入苑前には体験入苑をして頂く事もでき「馴染めるか」等、納得した上で最終決めて頂く様にしている。		体験入苑の実施
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 4項目					
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	調理やおやつ作りでは利用者様に作り方や味見をしてもらったりしている。何気ない会話の中で冗談を言い合ったりして喜怒哀楽を共にしている。		人生の先輩である事を常に意識し、言葉使いや接遇に注意しながらケアしていきたい。
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族様にはどんな事でも報告を行い、一緒に本人様にとって良い方法を考えている。		些細な事でも話して頂ける様な信頼関係を築いていきたい。
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者様の家族様との定期受診を大切にしている面会では利用者様が言えない事を代わりに伝えお互いの気持ちを伝えている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	在宅の時に住まれていた所の近くへは、外出行事等でドライブする様にしている。しスタッフと一緒に買物や受信時に馴染みの方との会話時間を大切にしてい		
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	馴染み関係を大切に考え座る場所を考えている。いつも話出来る関係を大切にしている。		
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退苑後でも他施設への面会に行っている。		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 6 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の希望は話をして把握に努めている。困難な場合には日々の様子や行動を見て対応している。		毎日の生活のペースは本人様に決めてもらっている。本人の希望や思いに近付ける様に行きたい。
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に家族様から話を聴かせてもらったり、入居前のアセスメントを参考にし、本人様の生活歴等は直接話を聴いている。		出来るだけ生活歴や馴染みの暮らし等を把握しケアプランに生かして行きたい。
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	1日の過ごし方は毎日一緒に生活する事で把握している。心身状態は日々の行動や表情等細かく観察している。有する能力については本人様の行動より把握して		
一人ひとりの把握 3項目中 3項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人様、家族様からの話を聴き、スタッフの意見も取り入れ介護計画を作成している。		
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	達成出来ない計画や新たに必要課題があれば現状に即した計画にしている。スタッフからの意見も見直しに役立っている。		
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録は毎日記入し、勤務時間や受診、家族様の言葉等色分けしスタッフ誰が見ても理解出来る様にしている。		個別計画には本人様の言われた言葉や行動を記録し介護計画の見直しに役立っている。
介護計画の作成と見直し 3項目中 3項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人の希望に応じ買い物外出に出る様にしている。家族様より定期受診の要望がある場合には対応している。		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 1項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	外出時には、地域の方のボランティアに助けを頂いている。中学生の職場体験やヘルパー実習の受け入れも行っている。		消防訓練の実施。
41		<input type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	病院を退院され、他のサービスが必要な場合には対応をする事が出来る。	○	地域の他のケアマネやサービス事業者と交流する機会を持ちたい。
42		<input type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している		○	長期的なケアマネジメントについて、地域包括支援センターと協働して行きたい。
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族様又はスタッフとの定期受診は必ず行っている。		
44		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	周辺症状が強くと表れたり服用している薬の効果が見られない様な場合には本人様と一緒に受診するかスタッフだけでも相談に行っている。		症状が安定している時は地域の認知症に詳しい医師の受診にしているが、内服薬を服用して安定しない時は専門医の受診をしていきたい。
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	日常の健康管理はスタッフがやっている。必要な時はかかりつけ病院へ電話連絡し看護師に相談しアドバイスを受けている。		
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院中の状態については家族様又は病棟看護師と情報交換している。状態の把握や退院の時期等については地域連携室ソーシャルワーカーと相談している。		
47	19	<input type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族様の意向は確認している。本人s間には聴く事が難しいのが現状である。(不安な気持ちになられる方が多い)	○	重度化や終末期の在り方については、本人様や家族様の意向を踏まえスタッフ間でも話し合いをもっていきたい。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現在の設備やスタッフでどこまで支援して行けるか分らないのが現状である。スタッフ全員で重度化や終末期に向けた支援を検討して行きたい。	○	
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	1日でも早く新しい環境に慣れて頂ける様、情報の交換を行っている。本人様が安心出来る環境を考えスタッフ全員で連携を密にし不安な気持ちの軽減に努めている。		
地域資源との協働 10項目中 6項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	一人ひとりその人に合った話し方をしている。ケアに対しても本人の意思を大切にしケース記録は外から見えないようカーテンをしている。		
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日々の過ごし方や入浴の可否等は本人様に必ず確認を行い自己決定してもらっている。個別での関りを持ち、話しやすい雰囲気作りを行っている。		
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の流れはあるが、その日の本人様のペースに合わせている。レク活動時も本人様の希望に沿いケアにあたっている。		
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 3 項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理容は、2か月に1回訪問にてカットして頂いている。化粧品等は一緒に買物に行ったり、美容師のボランティアの方に来てもらい爪磨きやブロー化粧等をして頂いて		
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	決まったメニューでも盛り付けに工夫をし喜んでもらえる様にしたり、特別メニューとして利用者様の好みのメニューを取入れている。配膳下膳も意欲的にしてもらっ		
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつ時の飲み物は好きな物を選んで頂いている。おやつは好きな物や食べたい物を取入れている。		
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	日中はリハビリパンツにて対応している。排泄間隔を考慮して少し早めに誘導を行っている。少しの汚染でも交換をし、本人様に出来る所までは自分でして頂いて		
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日の入浴ではあるが、必ず本人様に入浴の可否を決めて頂いている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	就寝の基本時間はあるが、本人様の状況に応じフロアやソファにて関りを持ち、自発的に就寝されるのを待っている。休息については随時声掛けし臥床を		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 6 項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	春分の日やお盆等、季節にあった行事を行い、食事やおやつも行事にあったものを取り入れる。外出行事も取入れられたり、昔されていたような小物作り等を行っている。		盛付、配膳、食器拭き等、利用者様の役割があり、毎日一緒に行っている。
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	おこずかいを本人様が持たれている方もおられ、希望があれば買物へ行っている。苑にて管理している方も外出時や希望がある場合一緒に買物へ出かけてい		
61	25	<input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物外出、また、天気の良い日には本人様の希望に沿って散歩に出かけている。		
62		<input checked="" type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	担当職員を中心に個別外出の取り組みを行っている。		住んでおられた付近の和菓子屋等へ行き喜んで頂いている。
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族様への電話は本人様から希望があれば随時かけてもらい、受診等、苑から家族様へ電話する時も、本人様に伝え話してもらっている。		
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも訪問してもらえる様にしている。居室でゆっくりと話してもらっている。		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 6 項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束となる具体的な行為はスタッフ全員が理解出来る様資料を作り、理解に努めている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関や居室のカギはいつも掛けていない。外へ出られる時はスタッフが付き添っている。		
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	スタッフが業務を行いながら利用者様の様子は見守っている。フロアから離れる場合には声を掛け合い利用者様の安全に配慮している。		
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	はさみや針等活動に応じて使用して頂き。使用後の管理はスタッフにて厳格に行っている。		
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	誤薬についてはスタッフが管理し必ず本人に手渡ししている。転倒や窒息が起こらない様充分な見守りを心掛けている。火災を防ぐようガスの使用後は確実に元栓を閉める様にしている。		
70		<input type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	個別には救急法を受けているが、苑においての定期的な取り組みは出来ていない。	○	応急手当や初期対応の仕方を苑全体で学んで行きたい。
71	27	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時の対策は地域の人々の協力が得られる様運営推進会議の場にて話し合っている。		仮：南部地区様支援者避難支援計画に参加する事を意思表示している。
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族様の面会時には日々の状態、様子を報告している。また、転倒の可能性が大きい方には状態を理解して頂いている。		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 5 項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日々の体調の変化に十分注意し気になる時はその日の受診を行っている。気付いた事は必ず申し送り、受診結果等はケース記録に記載しスタッフ全員が共有している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書はケース記録に最新の物を綴じ、いつでも確認できる様にしている。スタッフが各人の1日分をセットし服用前に手渡している。		
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘予防におやつ時に牛乳を利用した物を提供したり、起床時にコップ一杯の水を飲んで頂いている。		
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、義歯洗浄の声掛けを行っている。うがいも行い、口臭がある場合にはマウス液を使用している。		
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量や水分量は記録し勤務者が見れば分かる様にし、夏場には食事やおやつ以外の時間にも水分摂取を行っている。食べ難い方については刻み、ペースト等で対応している。		
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染対策マニュアルを作り、手洗いうがい手指の消毒を行っている。ノロ対策として消毒液にてテーブル、コップ、包丁を消毒している。必要時は便座や手摺も消毒している。		インフルエンザ注射の実施
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材については冷凍、冷蔵に分け日付を記入している。まな板、包丁等は熱湯消毒を行い、布巾等は毎夜消毒し、日光に当てている。		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 7 項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前には鉢植えの植物があり、野菜を手作り作っている。芝生が生えており明るい雰囲気になっている。		
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアのテーブルには庭に咲いている花を飾り、居室には本人様が作られたカレンダーを貼っている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファの所にテレビがあり、気の合った方同士でテレビを見たり話をされている。和室には籐の椅子もあり独りになれる。		
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはダンス、ぬいぐるみ、写真等昔から使用されていた物や家族の写真が飾ってあり居心地の良い居室にしている。布団や枕も本人様で使用されていた物である。		
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	トイレには消臭剤を置き窓を外から見えない程度に開けている。夏はエアコン冬は床暖房を使用しフロアには温度計を置きこまめに温度を調整している。		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 5 項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物はバリアフリーであり車イスでもトイレや浴室に移動出来る。手摺も設置し、座位、立位が安定している方は和室もあり状態に応じた自立した生活が出来ている		
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレや浴室の戸には場所の名前を書き、居室には表札と色画紙で名前の書いた物を貼り場所の混乱を防いでいる。		
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	苑外には椅子、テーブルがあり、テラスから直ぐに行く事が出来、天気の良い時には食事をしたりしている。また、入浴後に涼まれ、日光浴にもよく出られている。		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 3 項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

利用者様がその人らしく暮らしていける様に、日々一人ひとりの生活ペースにあった支援を行っています。毎日、顔なじみの方と話が出来、楽しく生活して頂ける様に地域への外出や、今までされてきた事を維持しながら続けて行ける活動にも取り組んでいます。家族様との関係を大切に、安心して暮らして行けるようにして行きます。

評価結果整理表

個 別 表	□のチェック項目数
I 理念に基づく運営	
－1. <input type="checkbox"/> 理念と共有	3 項目/3項目
－2. <input type="checkbox"/> 地域との支え合い	2 項目/3項目
－3. <input type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	5 項目/5項目
－4. <input type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	7 項目/7項目
－5. <input type="checkbox"/> 人材の育成と支援	4 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	
－1. <input type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4 項目/4項目
－2. <input type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	
－1. <input type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	3 項目/3項目
－2. <input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3 項目/3項目
－3. <input type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	1 項目/1項目
－4. <input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	6 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	
IV－1. その人らしい暮らしの支援	
－1. (1) <input type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	3 項目/3項目
－1. (2) <input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (3) <input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (4) <input type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	7 項目/8項目
－1. (5) <input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	7 項目/7項目
IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	
－2. (1) <input type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	5 項目/5項目
－2. (2) <input type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	3 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営 (項目/5項目)について

利用者様がその人らしく生活して頂ける様に、本人様の気持ちや意思は必ず傾聴し受け止めています。毎日の生活の中で顔馴染の方やスタッフと一緒に今までやって来られた事を維持しながら楽しみの持てる生活が続けて頂ける様に日々ケアに取り組んでいます。月1回のスタッフ会議では、利用者様一人ひとりの生活面や精神面で、ケアの足りない所が無いかが検討し、日々の関りに繋がっています。地域の方に少しでもさくら苑の事を理解して頂けるように地域の行事(夏祭り、敬老会等)に出掛けたり、日々の散歩にて地元の方と顔見知りになり交流が出来る様にしていきたいと考えています。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 項目/2項目)について

苑での生活に慣れて頂ける様にかかわりを大切にしています。本人様の不安な気持ちを少しでも軽減出来る様に、常に家族様に本人様の様子を伝え協力してもらい、必要な時には電話にて家族様と話が出来時間を持っています。又、家族様に受診等を報告する時は本人様にも電話に出て頂いています。少しでも馴染みの関係が出来る様、座席の場所も考え、利用者様同士が話しやすい雰囲気作りをしています。退苑については、退苑までの過程を大切に、退苑後も家族様や利用者様との関係が続けて行ける様に相談や支援をして行きたい。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

一人ひとりの思いや暮らし方は、日々の生活でのかかわりや会話の中から把握しています。希望は本人様に傾聴し少しでも達成出来る様にケアにあたっています。家族様からの意見や要望も傾聴しケアに取り入れている。本人様の出来る事を増やし、楽しく生活して頂ける様に介護計画を作成し、状態の変化や本人様、家族様の希望が出てきた時にはニーズの見直しや、追加を行い達成に向けて支援して行きたい。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (項目/7項目)について

日々の生活は本人様の生活ペースが維持出来る様、本人様にその日の過ごし方を聴き、レクリエーションの内容や入浴時間を希望に合う様にしています。おやつ飲み物は数種類用意し好きな物を飲用して頂いています。食事については利用者様が一番楽しみにされている事であり、出来る範囲で希望に沿ったものとし、行事の際には利用者様と一緒に考えたメニューを取入れています。外出は気分転換も兼ね個別に欲しい物が購入出来る様担当スタッフと出掛けています。本人様の暮らしを何時までも続けて行ける様に転倒防止の見守りと環境整備に努めて行きたいです。

V サービスの成果に関する項目について

利用者様と話す時間を多く持ち、一緒に過ごせる様にしている。他の方の前では話せない事も、スタッフと一対一であれば話せる事もあり、個別ケアを重んじています。外出についても利用者様の要望に応じて出掛けられる様により一層して行きたい。家族様の困っておられる事や不安な事等を傾聴し、出来るだけ改善に努め、何でも話して頂ける信頼関係を築いていきたいと考えています。

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

評価年月日: H 21 年 10 月 20 日

前回評価年月日: H 20 年 10 月 30 日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで)	改善に向けた具体的な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先 順位	内 容				
I-2、6	2	防犯パトロールの実施(法人での運営)地域住民との交流	H21年11月～ H22年10月	・高齢者の方に気楽に来て頂ける憩いの場作り ・高齢者をかかえる家族の方の介護教室(技術、相談援助等)		H22 年10 月
Ⅲ-4、 47	4	重度化や終末期に向けての検討	H21年11月～ H22年10月	・終末期に向けての家族様の意向の確認 ・スタッフ間で、終末期に向けて支援できる範囲の確認と具体的な方法の検討		H22 年10 月
Ⅲ-4、 48	3	重度化に向けてのチーム支援の強化	H21年11月～ H22年10月	重度化に向けての介護技術の向上		H22 年10 月
Ⅳ-1、 70	1	急変や事故発生時の強化	H21年11月～ H22年10月	急変時対応マニュアルの見直し作成、救急知識及び技術の向上		H22 年10 月